

I 日本史B問題

A

(1) 陸奥守在任中に陸奥の金を献上したため。	
(2) 斉明天皇	(3) 烽
(4) 高野新笠	(5) 盧舎那（仏）
(6) 多賀城	

B

(7) (あ) 足利直義に合力するため関東に下向すること。	
(7) (い) 足利尊氏の下向を許さなかった。	(8) 北条時行
(9) 武士たちが建武政権に不満を持っていたため。	
(10) 足利直義	(11) 新田義貞
(12) 『太平記』	

C

(13) 徳川綱吉	(14) 明暦の大火
(15) 生類	(16) 大名が独自に処罰すること。
(17) 関東取締出役	(18) 月
(19) 大名	

Ⅱ 日本史B問題

ア 公宮田	イ 博多
ウ 藤原純友	エ 伴大納言絵巻
オ 扇面古写経	カ 以仁王
キ 無著	ク 世阿弥
ケ 如拙	コ 雪舟
サ 禁中並公家諸法度	シ (徳川) 和子
ス 村方三役	セ 五人組
ソ 松尾芭蕉	タ 川柳
チ 高橋至時	ツ 新潟
テ 神通	ト 公害対策基本法

Ⅲ 日本史B問題

A

ア 宮座	イ 寄合	ウ 惣(村)
エ 地侍	(1) 入会地	(2) 徳政令
(3) (あ) 足利義教	(い) 管領	(4) 柳生
(5) 分一銭		

B

オ 菱垣	カ 河村瑞賢(軒)	キ 日本橋
ク 長崎		
(6) たたら製鉄	(7) 勘定奉行	(8) 下田
(9) 両替商(本両替)	(10) 銚子	(11) 高田屋嘉兵衛

C

ケ 正岡子規	コ ラジオ放送	サ 盧溝橋
シ ソ連		
(12) 内村鑑三	(13) 内地雑居(内地開放)	(14) 社会大衆党
(15) 長春	(16) 斎藤実	(17) (学徒) 勤労働員

IV 日本史B問題

(1)

縄文時代、気候が温暖化して海面が上昇し、日本列島が形成された。a の石鏃を装着した弓矢を用いてイノシシやシカなどの中小動物の狩猟が行われたほか、b の石錘を取り付けた網や c の骨角器を釣針に用いた漁労が活発になった。植物相が変化して木の実が豊富になり、d のすり石・石皿や土器を用いた木の実の調理・貯蔵も行われた。このように縄文時代の生業は、食料獲得法の多様化に対応し、狩猟・漁労・採集を基盤として発展した。

(200字)

(2)

大蔵卿松方正義によるデフレ政策の結果、米価・繭価の暴落と地租の実質的負担増加により自作農が小作農へ転落した。重い小作料に苦しむ小作農は家計補助のため子女を製糸・紡績業などの工場に出稼ぎにだし、子女は女工となり劣悪な労働環境下で低賃金と長時間労働を強いられた。女工の安価な労働力は、最大の輸出産業として外貨の稼ぎ手となった製糸業や 1890 年代にかけ輸出産業へ成長した紡績業を支え、産業革命の進展に寄与した。

(200字)